

長野市公文書館便り

2018
AUTUMN



●発行日：平成30年(2018年)9月25日 ●発行：長野市公文書館

©NaganoCityArchives

公民館などからの依頼による古文書講座

長野市公文書館には、市役所などで作製した公文書の他に、市域の方々から寄贈・寄託いただいた古文書がたくさんあります。古文書には江戸時代の公文書としての性格もあります。これらの古文書は整理をして目録を作成し順次公開しています。

古文書の整理・公開などを通じて培った長野市公文書館の専門性を生かした取り組みの一つに、外部からの依頼に応じた古文書講座の担当があります。今回は、安茂里公民館の特別講座「古文書に見る安茂里」について紹介します。

安茂里公民館には、以前から古文書講座があり、全县にわたる史料を用いて行われていたようです。当公文書館が担当したのは昨年度からですが、「古文書を通して地域を知る」ということで、原則として当館所蔵の安茂里地区の史料を用いることとしました。1回2時間、年間5回の講座です。

安茂里地区は、小柴見・平柴・久保寺・小市の4カ村が合併して安茂里村が成立した経過があります。大きく4地区あるため、昨年は小柴見地区について当館にある宮島家の史料を中心に進めてきました。

昨年度の講座参加者の中に「何年も家の床の間にある掛け軸ですが、なんと書かれているのですか」と相談に見えた方がいました。拝見すると、著名な教育者の短歌二首でした。今年度になって、講座で小市地区にある一茶の句碑と共に変体仮名の学習としてこの短歌を取り上げ、作者の教育者



大きな絵図で争いの内容を検証しました。

についても学びました。



貴重な古文書・書籍がたくさんありました。

小市地区より参加している方から「私の家にも、古文書がありますよ」というお話があり、4月当初に訪問して拝見したところ、大きな土蔵に古文書や書籍などが段ボール7箱ほどに詰められていました。江戸時代の小市村の宗門改帳・村送状・山論絵図・土目録・年貢皆済帳・用水実測図などが目にとまりました。村役人をつとめていた家ようです。今年度の古文書講座はこの方のご厚意により、所蔵史料を中心に小市地区について学習しています。

講座 「古文書に見る安茂里」(各回定員 20人)

1	6月	安茂里の杏(特産品の背景)
2	7月	短歌と俳句(変体仮名)
3	8月	山論(争いの内容とお家流のくずし字)
4	9月	生活の決まり(定)
5	10月	馬市と小市村の様子

毎回十数名の参加者があります。年代は70～80代で男女ほぼ同数ですが、皆さん大変元気で積極的です。講座では、独力で読む、隣同士で教え合って読むの二段階で学習を進めています。受講者の中には、地域の歴史に大変詳しい方や書道の先生がいるということもあって、地域の歴史への理解も深まってきています。



市誌研究 **ながの**
ふるさとのアーカイブ

『市誌研究ながの
—ふるさとのアーカイブ—』
25号好評発売中!

今号は、信濃における古代陶硯の変遷や中世の善光寺地頭・長沼宗政の動向、善光寺納骨堂建立に携わった建築史家や建築家等に関する論文・研究レポートなどを掲載しています。

◆B5判・196頁、頒布価格 1,500円(税込)



【公開資料】

- 「神郷村関係文書」(古文書21点)・「小林和智平文書」(古文書136点)・「西川輝昭文書」(古文書3点)
「阿部天一文書」(古文書5点)・「佐治木光夫文書」(古文書19点)・「玉木栄一郎文書」(古文書27点)
「北澤元一文書」(古文書1点)

【活動記録】

- 7/31 長野県立歴史館資料調査員会議出席
8/27-31 国立公文書館「アーカイブズ研修I」受講
9/20 安茂里公民館出張講座

古文書紹介

Table with 10 columns representing travel dates and locations (e.g., 東京, 横浜, 海士, 神戸, 大阪, 京都, 奈良, 伊勢, 名古屋, 山梨, 長野) and detailed text describing the itinerary and historical context.

今回紹介するのは「昭和9年度第4学年修学旅行日程表(複写)」(古25-3)です。これは当時の長野中学(現長野県長野高校)4年(現在の高校1年生)の7泊8日の旅行の日程表です。4月11日夜行列車で長野を出発し、伊勢・奈良・京都・大阪と回り、神戸から「ぶゑのすあいれす丸」という船(総トン数9.625トンの貨客船)で、船中2泊で横浜に向い最後に東京を見学して帰るというものです。現代よりずっと長期間で楽しそうに思えます。旅行(行先は様々)は14年まで続きますが、太平洋戦争が激しくなってきたため翌15年から約10年間行われませんでした。

修学旅行は今も昔も学校生活の中で忘れられない一番の思い出です。当時の生徒はどんな景色を見て、何を思ったのでしょうか。

長野市公文書館

所在地 長野市箱清水一丁目3-8 長野市城山分室内(〒380-0801)
電話 026-232-8050 FAX 026-232-8051
HP http://www.city.nagano.nagano.jp/naganoarchives/
又は 長野市公文書館 で検索
E-mail shomu-9@city.nagano.lg.jp
開館時間 午前9時から午後5時(閲覧申込みは午後4時30分まで)
休館日 土曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日
年末年始(12月29日~1月3日)

「こども見学ツアー」を行いました!

夏休み特別企画の「こども見学ツアー」を、7月29日と8月5日に行いました。

ツアーの前半は、長野市の歴史や公文書館の仕事についてビデオで勉強してから書庫を見学。後半は、破損した資料の修復や水没した資料の対処の仕方について作業の体験をしました。参加したこどもたちは「修復は少しむずかしかったけど楽しかった」「資料がたくさんあってびっくりした」「また来たい」と、話してくれました。待ってま〜す。



【パネル展のご案内】

「長野市公文書館城山分室時代11年の軌跡」

期間 10月7日(日)~10月21日(日)<8日と土曜日は休館>
場所 長野市城山分室共用会議室1(旧NHKの建物内)
時間 午前9時~午後5時(最終日は午後4時まで)



【講演会のご案内】

「長野の出版文化 -歴史と人、そして今-」

日時 10月19日(金) 午後1時30分~3時30分
場所 長野市城山分室大会議室
講師 酒井 春人氏(龍鳳書房代表取締役)
定員 150人(事前申込不要)

